

受付番号	47		
許可番号	大歯医倫 第 110968 号		
研究課題名	顎堤粘膜疼痛感覚のエントロピー分析		
研究責任者	島田 明子	申請者	島田 明子
研究終了日	2019 年 3 月 31 日		
所属	口腔リハビリテーション科	所属	口腔リハビリテーション科
職名	講師	職名	講師

申請の概要

超高齢化社会に突入した日本では、高齢者の QOL 維持・向上を図り、また、健康長寿をさらに延伸させるために、有床義歯装着患者に毎日快適な食事ができる環境を提供することは、歯科医療従事者にとって重要な責務である。一方、有床義歯装着者にみられる主要徴候の 1 つに『義歯床下粘膜の疼痛』が挙げられるが、これまで痛みを誘発させる義歯からの圧力についての報告は多くあるにもかかわらず、床下粘膜の圧痛閾値については未だ不明な点が多い。こうした背景を受け、本研究では、本学附属病院口腔リハビリテーション科または補綴科に通院中の成人無歯顎患者 16 名（男性 8 名、女性 8 名）及び公募によって参加に同意した個性正常咬合を有する者 16 名（男性 8 名、女性 8 名）を対象として、軟組織の圧痛刺激に対する応答の評価法として近年注目されている“エントロピー”の概念を口腔粘膜に応用し、義歯治療の効果を予見するための基本的情報を客観的根拠に基づいて得ることを目的とする。本研究により、顎堤粘膜圧痛閾値の基準となるエントロピーを決定できれば、義歯製作開始前に『義歯床下粘膜の疼痛』の発現のリスクを予測し、効率的な義歯治療を患者に提供することができるものと期待される。